



私たちの活動

- ① 会員相互の親睦を深め、情報交換、勉強会を行っています。(相談し合い、励まし合い、支え合う)
- ② 子ども達の心身の発達、社会性の発達、生活空間の広がりをめざしています。
- ③ 自閉症についての知識を広げ、理解と協力を求める活動を行っています。
- ④ 自閉症の人達の人権を守り、社会参加の拡大を促進し、安心して生活できる社会を目指します。
- ⑤ 地域の行政を含む関係機関に支援の仕組み作りや改善の働きかけを行っています。
- ⑥ 一般社団法人日本自閉症協会に加盟し、国レベルの制度の創設や改善・改革に取り組んでいます。



入会のガイド

自閉症児・者が安心して生活できる社会を求めて一緒に活動しませんか。

入会金はありません。

年会費：2,500(円) 一般社団法人日本自閉症協会
2,000(円) 神奈川県自閉症協会
3,000(円) 地区親の会

一般の方々のご支援をお願いするとともに、会の目的に賛同いただいただけの方の入会を歓迎いたします。



賛助会費：(一口) _____ (円)

★入会申し込み、お問い合わせは、

秦野・伊勢原地区自閉症児・者親の会

〒259-1316 秦野市沼代新町9-1

TEL・FAX 0463-88-4409

山 口 一 美

私たちの会の紹介

私たち「神奈川県自閉症児・者親の会連合会」は1968年3月3日に設立された親の会から発展し現在は神奈川県11地区の連合体となり、各部会を加え「神奈川県自閉症協会」となっています。

国レベルの組織である一般社団法人日本自閉症協会の神奈川県下の各協会は2008年から下記となっています。

自閉症スペクトラム障害(自閉症、高機能自閉症、アスペルガー症候群)の人達を支援するため、各協会・各地区親の会で様々な活動を行っています。

一般社団法人 日本自閉症協会

神奈川県自閉症協会

本人部会

支援者部会

親部会

横浜市自閉症協会

一般社団法人
川崎市自閉症協会

神奈川県自閉症児・者親の会連合会

◆相模原市自閉症児・者親の会

◆藤沢市自閉症児・者親の会

◆茅ヶ崎地区自閉症児・者親の会
(茅ヶ崎市・高座郡)

◆平塚地区自閉症児・者親の会
(平塚市・中郡)

◆横須賀地区自閉症児・者親の会
(横須賀市・逗子市・三浦市・葉山町・鎌倉市)

◆座間地区自閉症児・者親の会
(綾瀬市・座間市)

◆秦野伊勢原地区自閉症児・者親の会
(伊勢原市・秦野市)

◆大和市自閉症児・者親の会

◆厚木市自閉症児・者親の会

◆海老名市自閉症児・者親の会

◆県西地区自閉症児・者親の会

(小田原市・南足柄市・足柄上郡・足柄下郡)

自閉症の… 理解のために

毎年4月2日は国連の定めた世界自閉症啓発デー
4月2日～4月8日は発達障害啓発週間です。
(世界自閉症啓発デー・日本実行委員会は、全国各地で広く啓発活動が進むように発達障害啓発週間を設けました。)



神奈川県自閉症協会

神奈川県自閉症児・者親の会連合会

HP: <http://kas-yamabiko.jpn.org/>

(会の詳細案内、問合せ先などは上記ホームページへ)

秦野・伊勢原地区自閉症児・者親の会

〒259-1316 秦野市沼代新町9-1

TEL・FAX 0463-88-4409

山 口 一 美

このパンフレットの作成には、神奈川県新聞厚生文化事業団のご援助を頂きました。

2015(1)

神奈川県自閉症協会 編

自閉症をご存知ですか？

『自閉症』は、脳の情報処理の機能が混乱している生まれながらの脳の機能障害です。

知的障害やその他の発達障害、てんかんなどを伴って生じる場合が多いですが単独で生じる場合もあります。今日まで自閉症の原因は解明されていません。脳のどの部分にどんな障害があるか解っていません。知的な遅れのある人も無い人もいます。知的な遅れの無い自閉症の人にも同じ配慮が必要です。

◆一般的には生後2歳半くらいまでにあきらかになる一種の「発達障害」です。大人になって診断される方もいます。

◆コミュニケーションすることに障害があります。言葉については、実際に話すことの可能な人でも、その言い回しやイントネーションに特有なパターンがある人や、実用的に使えない人が多くいます。また、言葉をまったく話せない人達もいます。

◆また、社会的な関係を理解することが難しく、仲間と協調して遊べなかったり、友達関係を築く能力が損なわれたり、相手の気持ちや感情を理解できなくなったりします。

『自閉症』は、大変誤解されていることが多いですが.....

◇「無口の人」や「引っ込み思案の人」などといった内向的な性格のことをいうのではありません。

◇「ノイローゼ」や「心身症」といった心の病気でもありません。

◇また、一昔前に言われていたような親の育て方や子どものおかれた環境の心理的な問題が原因ではありません。

自閉症(ピクトグラム)

自閉症は一般に下の図に示すような特徴の少なくとも半分を持っています。また自閉症児の示す特徴的な行動は多様な場面で現れ、一貫して年齢不相応なものです。

「どこ行くの？」
「どこ行くの？」
エコーリア (オーム返し)
泣き叫びかんしゃくがある
理由の分からない苦痛の態度を示す
他の子ども達の中に入れてない
通常の教育方法にはのららない
落ち着きなく動き回るのに手を引かれないと活動できない
全身運動も指先の活動もごちさない
「どこと行くの？」
耳が聞えないかのようには振る舞う
物をくるくる回す
慣性を変えようと抵抗を示す
よそよそしい態度を示す
奇妙な遊びに没頭する
明らかな危険に恐怖心が無い
物に対する不適切な愛着を示す
視線が合わない
プロック積みはできてもボール蹴りをしようとしていない

この資料はJ・レンドル・ショート教授 (オーストラリアのクィーンズランド大学 プリス・ヘイ・小児病院) の文献をもとに改定して作成したものです。

どんな事が必要でしょうか

治療教育の目的は「自立」と「社会参加」です。それを可能にしていくために、

- ◆早い時期からの治療教育が必要です。乳幼児期からの総合的な療育は、自閉症の人達の後に大きな効果をもたらしています。ですから早期に専門機関をたずねることが必要です。
- ◆総合的治療教育の基本の一つは、障害の子ども自身にかかわる働きかけであり、もう一つは、まわりの受け入れ、理解、設備、様々な環境の要因をよくする働きかけです。
- ◆脳の情報機能が混乱しているので、知能面・運動面・社会面・言語面など各機能を統合するため、乳幼児期から一人ひとりに合わせた一貫性のある、組織的・計画的な治療教育が必要です。
- ◆その為の治療教育機関が必要ですが、身近にあることや専門性の確保が重要です。
- ◆教育・発達訓練はそれを行う教育現場での専門性の確保が必須です。そして成長・発達段階に合わせて継続性・一貫性が重要です。
- ◆成人に向かっただけで発達しますが、就労するようになっても、「自閉症」の基本的部分が残る社会生活に支障をきたすこともありまます。多くの人は、まわりからの援助を必要とします。
- ◆基本的な障害を残しながらも就労可能な人達に対し、理解ある職場や、ジョブコーチなどによる援助が必要です。
- ◆自閉症の人たちには、生涯にわたる支援、その人に合わせた合理的配慮が必要です。